

平成 22 年 12 月 22 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄  
(コード 2388 大証 J A S D A Q 市場 )  
問合せ先 取締役経営管理本部長 浅野 樹美  
(TEL 03 - 6225 - 2207 )

## 財務諸表の監査報告書における無限定適正意見表明についてのお知らせ

当社は、平成22年12月22日付にて、当社会計監査人であるビーエー東京監査法人より、平成22年9月期の有価証券報告書に添付される財務諸表の監査報告書について、無限定適正意見が表明された監査報告書を受領いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

1. 監査を実施した会計監査人の名称  
会計監査人 ビーエー東京監査法人

2. 監査報告書の内容

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウェッジホールディングスの平成21年10月1日から平成22年9月30日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ウェッジホールディングス及び連結子会社の平成22年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 追記事項

重要な後発事象に関する注記に記載のとおり、会社は平成22年9月28日開催の取締役会において、株式会社 Pepto One Nutrition の株式を取得し同社を子会社化することを決議し、平成22年10月1日付で株式譲渡契約を締結している。

### 3. 財務諸表の監査報告書の受領日

平成22年12月22日

### 4. 会社の今後の対応

当社は、内部統制報告書に添付される内部統制監査報告書については、「意見表明しない」旨が記載された内部統制監査報告書を受領いたしましたが、有価証券報告書に添付される財務諸表の監査報告書については無限定適正意見が記載された監査報告書を受領しており、連結財務諸表及び財務諸表の適正性については全く問題がないと認識しております。

今後は、内部統制報告書に添付される内部統制監査報告書についても無限定適正意見が記載された内部統制監査報告書が受領できるよう、内部統制環境の整備及び運用評価を推進していく所存です。

以 上